

粕屋町定員管理計画
(令和2年度～令和6年度)

令和2年3月

粕屋町

目次

1. 計画策定の趣旨	1
2. 職員数の現状	2
(1) 類似団体との比較	2
(2) 糟屋地区の各町との比較	3
3. 定員管理計画	4
(1) 基本方針	4
(2) 計画期間	5
(3) 計画目標	5
(4) 年度別目標	5

1. 計画策定の趣旨

粕屋町では、まちづくりの基本理念である「太陽と緑のまち」「協働でつくる安心のまち」を実現するため、町民、地域と行政がともに力をあわせて、安全で安心な暮らしを支える住みよい生活環境を創り出し、誰もが粕屋町に住み続けたいと思うまちづくりを進めています。

新たな行政需要に適切に対応し簡素で効率的な執行体制を確立するために、平成18年から実施した行財政改革において、組織体制の見直しや職員の役割の明確化による職員定数の抑制・削減に努めるとともに再任用・臨時嘱託職員の活用等を推進してきました。また、保育所の民営化等業務委託により正規職員総数を削減してきました。

しかし、人口増加や複雑・多様化する住民ニーズに適切に対応するため、近年は新卒者に加え、即戦力となる経験者の採用を積極的に行ってきた結果、平成31年4月1日現在の正規職員総数(フルタイム再任用職員含む)は、233人となっています。

全国的に人口減少・少子高齢化が進行する中で、粕屋町の人口は引き続き増加していくことが見込まれ、2025年(令和7年)の国勢調査においては、市制の要件である人口5万人を超えることが予想されます。ますます元気なまちとなるように、町民と地域と行政がともに新たな時代のまちづくりを推進していく必要があります。

このように、今後も取り組むべき行政課題や住民ニーズに適切に対応するために、適材適所の職員配置や業務量に応じた職員数の割り振りなど、適正な定員管理を行っていくことが重要であります。また、再任用制度への対応や今後の行政組織の体制維持の観点から平準化した職員採用を図る必要があります。この度、令和2年度から令和6年度までの粕屋町定員管理計画を策定するものです。

2. 職員数の現状と比較

(1) 類似団体との比較

類似団体別職員数とは、一般行政部門及び普通会計について、人口と産業構造(産業別就業人口の構成比)から類似する市区町村をグループに分け、そのグループ内での人口1万人当たりの職員数の平均値を算出し、職員数の比較を行うもので、適正な定員管理の推進をするための参考となる指標とするものです。なお、他の市区町村との比較を行う観点から、市区町村ごとに実施している事業にばらつきがある公営企業等会計部門の職員は除外しています。

粕屋町は、人口2万人以上、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次 60%以上のグループ(V-2)に区分され、平成30年度においては、全国で102町村が、福岡県では11町が属しています。

人口1万人当たり職員数を比較すると、一般行政部門・普通会計のどちらにおいても、粕屋町は少ない状況であり、全国平均値を大きく下回っていることがわかります。

町村 V-2 (福岡県内) ※人口2万人以上、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次 60%以上の団体

一般行政部門 (単位:人)				普通会計 (単位:人)			
団体名	住基人口 (H30.1.1)	一般行政職員数 (H30.4.1)	人口1万人当たり職員数 (一般行政)	団体名	住基人口 (H30.1.1)	普通会計職員数 (H30.4.1)	人口1万人当たり職員数 (普通会計)
粕屋町	47,076	148	31.44	志免町	45,807	176	38.42
新宮町	32,564	104	31.94	粕屋町	47,076	198	42.06
志免町	45,807	153	33.40	新宮町	32,564	140	42.99
篠栗町	31,537	112	35.51	篠栗町	31,537	142	45.03
須恵町	28,084	100	35.61	須恵町	28,084	128	45.58
那珂川町	50,341	192	38.14	宇美町	37,376	176	47.09
宇美町	37,376	150	40.13	水巻町	28,866	137	47.46
水巻町	28,866	117	40.53	那珂川町	50,341	250	49.66
筑前町	29,685	129	43.46	岡垣町	31,973	160	50.04
岡垣町	31,973	141	44.10	筑前町	29,685	149	50.19
福智町	23,246	164	70.55	福智町	23,246	203	87.33
【参考】V2 全国平均			50.68	【参考】V2 全国平均			64.74

【総務省 HP:類似団体別職員数の状況(平成30年4月1日時点)より抜粋】

(2) 糟屋地区の各町との比較

毎年4月1日を基準日として総務省が実施する「地方公共団体定員管理調査」による糟屋地区の各町の部門別職員数及び総職員数(合計)は次のとおりです。

H31.4.1 現在

(単位:人)

部門 町名	一般行政			教育	普通会計 計	公営企業 等会計	合計
	一般管理	福祉関係	一般行政計				
粕屋町	89	71	160	48	208	25	233
宇美町	86	65	151	24	175	24	199
篠栗町	77	36	113	28	141	22	163
志免町	91	75	166	22	188	30	218
須恵町	66	39	105	27	132	23	155
新宮町	70	34	104	39	143	28	171
久山町	43	18	61	17	78	11	89

【総務省 HP:平成 31 年地方公共団体定員管理調査結果より抜粋】

「福祉関係」「教育」部門には町立の保育所・幼稚園等の職員が含まれるため、単純な比較はできませんが、総職員数についても、人口1万人当たりの職員数を比較すると、下記のとおり粕屋町は少ない状況です。

(単位:人)

町名	H31.1.1 現在 人口	総職員数	人口1万人 当たり職員数
粕屋町	47,658	233	48.89
宇美町	37,303	199	53.35
篠栗町	31,424	163	51.87
志免町	46,055	218	47.33
須恵町	28,554	155	54.28
新宮町	32,930	171	51.93
久山町	8,987	89	99.03

3. 定員管理計画

(1) 基本方針

取り組むべき行政課題や複雑・多様化する住民ニーズに適切に対応するために、限られた人員により質の高い行政サービスを提供し、新たな行政課題にも的確に対応していくためには、計画的な職員採用、さらには職員配置の一層の効率化・適正化を推進していく必要があります。

今後の定員管理にあたっては、事務事業の見直し、民間委託等の推進、人材の育成や再任用制度の効率的な運用等を図りながら、将来に向けて持続可能な自治体組織の確立に努めていきたいと考えています。

① 簡素で効率的な組織機構の構築

複雑・多様化する住民ニーズや山積する行政課題、さらには時代の要請に迅速かつ的確に対応しながら、質の高い行政サービスを、安定的かつ持続的に提供するため、効率的な組織機構を構築します。

② 民間活力の活用

公が直接行う必要性、住民サービスに与える影響、コスト等を考慮し、民間委託した方が効率的・効果的に業務が行えるものは、積極的に民間委託または指定管理制度の有効活用を図ります。

③ 職員採用・職員配置の適正化

職員の新規採用は、退職予定者の数や職種等を勘案し、在職者の年齢構成等を踏まえながら、各年度の目標職員数を上回らない範囲で計画的に行います。

④ 人材の育成

限られた人員により質の高い行政サービスを提供し、新たな行政課題にも的確に対応していくためには、職員一人ひとりの資質や意欲の向上が不可欠です。今後は、さらなる職員研修の充実、人事管理の適正化に努め、職員の意識改革も含め、人材の育成を図っていきます。

⑤ 再任用職員の活用

今後増加する再任用職員を適正配置することで、豊富な知識経験を活かし組織力の向上を図ります。

(2) 計画期間

計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

(3) 計画目標

今回の計画目標は、再任用制度対応や単年度大量退職対策として平準化した職員採用を行い、令和6年4月1日の目標職員数を254人とします。

なお、大幅な政策変更等が生じた際には、計画期間であっても見直しをおこなう場合があります。

(4) 年度別目標

定員管理の基本的な考え方や基本方針を踏まえ、計画期間における年次別の目標職員数を設定し、目標達成に向けて取り組んでいくものとします。

(単位:人)

区分	参考	計画期間における目標職員数				
	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1
前年職員数	218	229	236	240	237	242
前年度退職(予定)者数	4	5	3	8	0	0
採用(予定)者数	15	12	7	5	5	5
職員数	229	236	240	237	242	247
フルタイム再任用(予定)者数 ^{※1}	4	4	5	10	9	7
職員数(再掲)	233	240	245	247	251	254

※1:退職予定者の6割をフルタイム再任用予定として計上